

# 山裾の宿場町の面影

千曲市川西地区ウォーキングマップ

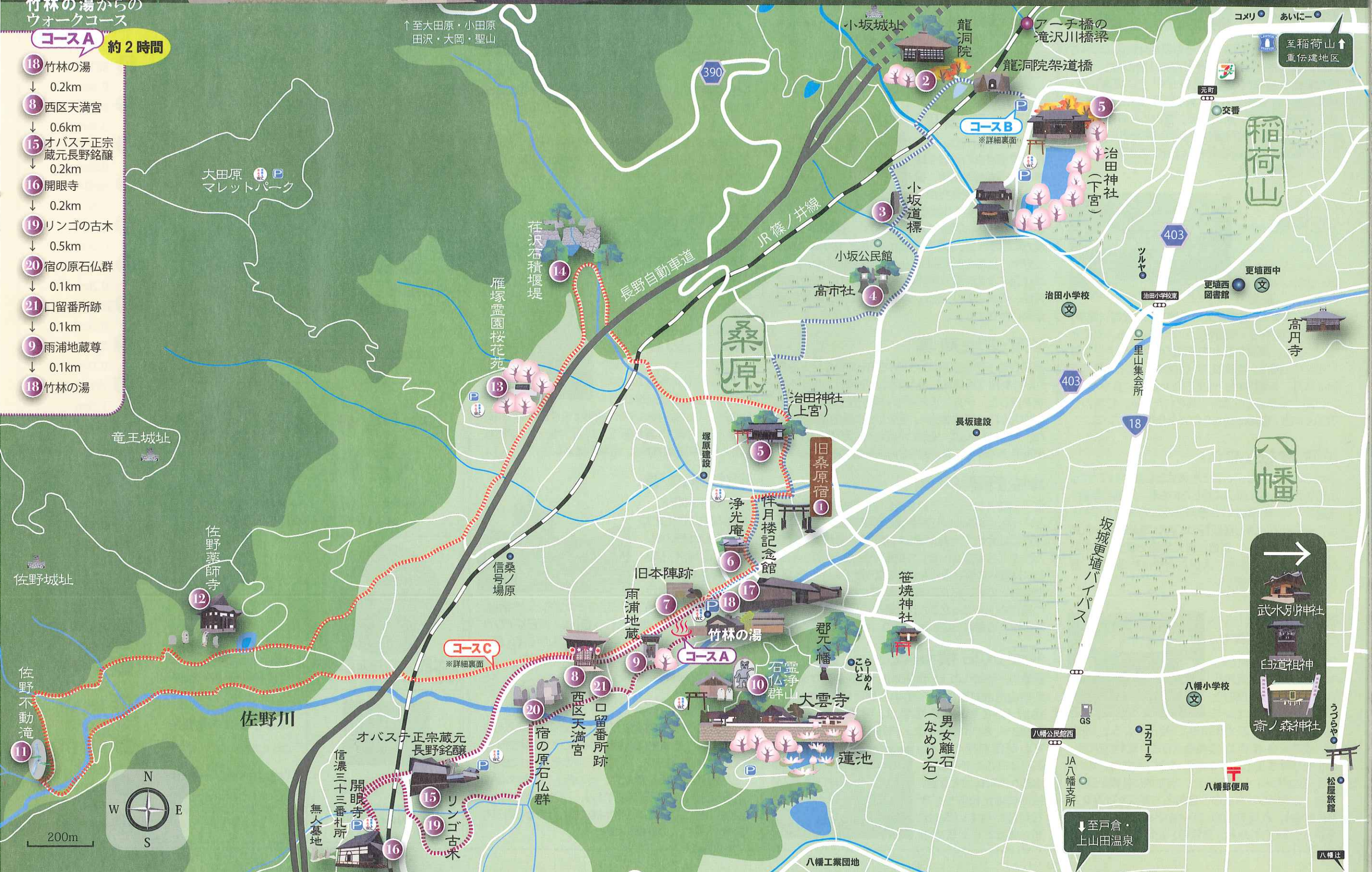
# 桑原

かわにしburari・千曲市

## 竹林の湯からのウォークコース

### コースA 約2時間

- 18 竹林の湯  
↓ 0.2km
- 8 西区天満宮  
↓ 0.6km
- 15 オバステ正宗  
蔵元長野銘醸  
↓ 0.2km
- 16 開眼寺  
↓ 0.2km
- 19 リンゴの古木  
↓ 0.5km
- 20 宿の原石仏群  
↓ 0.1km
- 21 口留番所跡  
↓ 0.1km
- 9 雨浦地蔵尊  
↓ 0.1km
- 18 竹林の湯



武水別荘神社  
白道神社  
齋ノ森神社

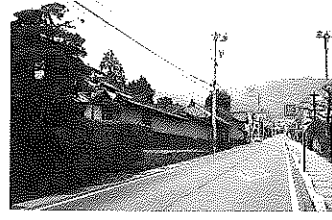
至戸倉・  
上山田温泉

八幡社



# ①桑原宿

延喜の駅路猿ヶ馬場峠の麓に位置する古くからの集落。天正・慶長の頃には宿駅として賑ったが、慶長7年(1601)ごろその役割は稲荷山に移された。江戸時代は、善光寺街道の「間の宿」、松代藩の私的な宿場町の役割も担っている。幕末には、京都上洛の松代藩主真田幸教一行や佐久間象山らも桑原宿に泊まった。周辺には、煙出しのある古い町屋も点在し、伝行基菩薩作の薬師如来を祀る佐野薬師、延喜式内社の治田神社(上宮)などもあり、繁栄の時代を偲ばせる。



# ②桑原山 龍洞院

応永元年(1394)、西国から信濃へ回錫の僧が、桑原郷に止宿し、秋葉・龍王の二神から、この地に寺を開けとの霊告(霊夢)を得て草堂を作り、龍燈院と名づけたという。永正元年(1504)、桑原左近太夫が遠江の可睡斎7世太陽一鶴を招き開山。慶長9年(1604)、松平忠輝、寺領を寄進。天和年中、火災のため焼失、貞享年中、松代藩士根津直治により中興された。秋、紅葉の見事さは秀逸、庭園は幽玄な世界を作り出している。

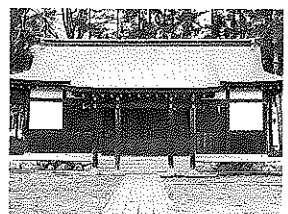


# ④高市社(石仏)

小坂の入口にあり、石仏とも腰仏とも言われてきた。宿駅を桑原から稲荷山に移したのちも、交通の要衝・桑原宿での市は開かれ、その場所に守護神・市神として祀られていた。自然石のご神体で未記名のため祭神名は不明だが、福德、商売繁盛を願う市神の祭神としては、事代主命、大国主命や市杵島姫命、恵比寿、大黒などが多い。

# ⑤延喜式内社 治田神社(郷社)

善光寺街道旧桑原宿の中ほどにある延喜式内社で、「大明神」「鎮守様」とも呼ばれ親しまれている地域の産土神(うぶすなかみ)。社伝によると、463年(雄略天皇8年)、彦坐命(ひこいますのみこと、開化天皇第3王子)の5世孫・日子王が創建。のち、地土(じさむらい)桑原氏が、現在地に社殿を遷座。現在、祭神として彦坐命、建御名方神(たけみなかたのかみ)、八坂刀女命(やさかとめのみこと)、保食神(うけもちのかみ、食物神)を祀る。境内には、



杵築大社(きづきたいしゃ、出雲大社)、高市社、八幡社、津島社など境内社、石祠も祀る。

# ⑥寶珠山浄光庵

寛永(1624~1643)のころ洞春和尚が元町地区に龍洞院の末寺として創立された。元禄3年(1690)頃まで同地区にあったが火災のため廃寺となり、明和2年(1765)、龍洞院第15世梅峯雄松が現在地にあった地藏堂に居住し、浄光庵を再興した。明治初期にはここで地域の学び舎「明善学校」が開かれた。

# ⑧西区天満宮

仁平元年(1151)、桑原氏が菅原道真の分霊を勧請、沙門冥海が開創、伝恵心僧都作の道真坐像を祀る。元禄2年(1689)、現在地に遷座。明治41年(1908)、近隣の長福寺境内に遷され、同寺廃寺(昭和38年/1963)後は、長野市の長谷寺に祀られた。昭和50年(1975)地域住民による天満宮再興の機運が高まり、現在地に再建。春秋の祭り、元旦の初詣などには、地域住民が集い参拝する。



# ⑨雨浦地蔵尊

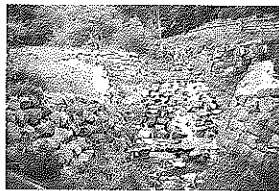
長福寺の小坊主隆蔵は、旱魃で困っている村人を救うため峯池(馬場池)の土手に穴を開け、坂下へと水を流した。一方、水が来ないのを怪しんだ坂裏地区の人々は、隆蔵を捕え、罰として赤蟻地獄に落とした。坂下の村人は、赤蟻に刺され死んだ隆蔵を悼み、雨浦せぎの畔に、お地藏さまの祠を建て祀った。

# ⑫佐野薬師堂

仁平年間(1151~54)開山。古くは佐野山医王院といった。本尊は伝行基菩薩作の薬師如来坐像。仁王門には金剛力士像が祀られている。眼病に霊験新たな「目の薬師」として信仰が厚く、堂前の薬師池には眼病に悩む人の身代りになった「片目のどじよ」が棲むとの言い伝えがある。池畔にはかつて「西行の杖突桜」があったとされ、幕末の国学者、飯塚久敏の建立の西行旧跡の碑が立つ。明治41年再建。

# ⑭荻沢石積堰堤

信濃川下流域への土砂流失防止と荒廃が進む水源山地地山治水対策として行われた砂防施設のひとつ。荻沢(いざわ)石積堰堤は、明治15~17年(1882~84)に築かれた、内務省直轄砂防事業としてわが国初期のもの。石材は周辺の野面石で、水通し部には大きな石、袖部には比較的小さな石が使われている。水通し部はアーチ状で明



治初期の石積堰堤の特徴を有し、平成21年、国の登録有形文化財に指定された。

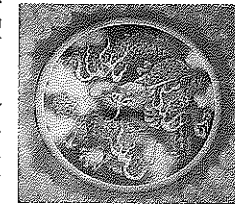
# ⑮オバステ正宗 蔵元長野銘醸

元禄2年(1689)創業、「松泉」「高砂」の銘柄で、酒造石高92石であった。宝暦元年(1751)の正月、丸一と称する五人組神楽芸人を泊めて村人に神楽・獅子舞の芸を教え今に伝えている。善光寺名所図会(天保14年刊)に描かれている赤松「七曲の松(ななねだのまつ、千曲市指定保存樹)」は、いまなお見事な枝振り、正面の土蔵造り2階建ての酒蔵等12棟が国の登録有形文化財に指定された。



# ⑯恵日山 開眼寺

慶安4年(1651)、開眼寺の前身の観音堂を建立。開山龍天宗登大禪師、開基和田弥左衛門正廣。本堂大悲閣は元禄4年(1691)の建立。本尊聖観音菩薩は秘仏で、扉を開くと風雨を巻き起こすと伝えられてきた。本尊は伝京仏師作の一木造皆金色の尊像で、藤原時代の古様式を受け継ぐ江戸時代初期のもの。秘仏本尊ご開帳は元旦と8月3日。信濃33霊場第13番札所で、33番中唯一、北向きに建てられた観音堂である。座禅が出来る。



# ⑰竹林の湯

旧桑原宿の中ほど、竹林に囲まれたのどかな雰囲気の日帰り温泉。平成19年(2007)、温泉を通した憩いの場、健康増進の場として造られ、現在、書道、ヨガ教室などにも活用。新鮮な朝取り野菜の販売も行っている。泉質はアルカリ性で、神経痛、冷え性、疲労回復、高血圧症、慢性皮膚炎などに効く。午前10時~21時開館。tel.026-272-6500



# ⑳口留番所跡

江戸時代、幕府は諸大名が勝手に関所を設けるのを禁じたため、各藩では他領への出入口での検問や徴税には、「関所」ではなく「番所」の体裁をとった施設・口留番所を置いた。桑原は、宿の西入口、鍵の手の曲り角に松代藩の口留番所があり、「入り鉄砲に出女」などを中心に、松代藩、松本藩に通じる善光寺街道往來の商人や旅人の取締りにあつた。



## 恵日山 開眼寺

〒387-0023 長野県千曲市八幡中原 57  
電話 026-272-5015  
FAX 026-272-5546



## 桑原山 龍洞院

〒387-0024  
長野県千曲市桑原 2136  
電話 026(273)1695

## 塚原建設株式会社

社寺建築・住宅新築・リフォーム・建築一般  
土木一般・不動産・公共事業

長野県千曲市桑原 277  
電話 026-272-1272 Fax 026-272-1284



## 佐野川温泉 竹林の湯

住所 千曲市大字桑原 1551 番地 (伴月楼記念館隣)  
電話 026-272-6500 (FAX 兼用)



## オバステ らーめん かいど

代表 小井土 良安  
〒387-0023 長野県千曲市大字八幡 1364-1  
TEL/FAX 026-272-5095



## 寶珠山 浄光庵

〒387-0024 長野県千曲市大字桑原中區 1337  
電話 026-274-1201

## ふるさと・まち研究所

CMSによるホームページ制作  
ネット放送  
「まち学校放送局」局員募集中

千曲市稲荷山町 905  
電話 080-1310-4396  
代表 福井 修一

# ウォーキングのモデルコース

- 龍洞院からのウォークコース
- コースB 約2時間**
- 龍洞院駐車場 ↓ 0.3km
  - ② 龍洞院 ↓ 0.3km
  - ③ 道標 ↓ 0.3km
  - ④ 高市社 ↓ 0.3km
  - ⑤ 治田神社(上宮) ↓ 0.4km
  - ⑥ 浄光庵 ↓ 0.2km
  - ⑦ 日本陣跡 ↓ 0.2km
  - ⑧ 天満宮 ↓ 0.2km
  - ⑨ 雨浦地藏 ↓ 0.1km
  - ⑱ 竹林の湯 ↓ 1.7km
- 龍洞院駐車場

- 竹林の湯からのウォークコース
- コースC 約3時間**
- ⑱ 竹林の湯 ↓ 0.2km
  - ⑧ 天満宮 ↓ 1.9km
  - ⑪ 佐野不動滝 ↓ 1.0km
  - ⑫ 佐野薬師寺 ↓ 0.6km
  - ⑬ 雁塚霊園 ↓ 0.3km
  - ⑭ 石積堰堤 ↓ 0.8km
  - ⑤ 治田神社(上宮) ↓ 0.1km
  - ⑥ 浄光庵 ↓ 50m
  - ⑱ 竹林の湯